

時代は中央

校長挨拶

鶴岡はすっかり夏の装いになりました。月山からなだれ落ちるように、目の前の田んぼの稲まで鮮やかな緑一色に染まっています。本校は 2 学期制ですから先月中旬に中間テストが行われ、また、学校祭もつい先週終わったばかりです。

今は、国体予選に向けて汗を流している生徒、生徒会や委員会に所属しそれぞれの活動に取り組んでいる生徒、担任との面談や机に向

かって熱心に勉強している生徒、廊下を渡ってくるのは涼しさを呼ぶ風と歌声や楽器の音そして笑い声。

そんな生徒たちを見ていると、つuisまざまなことが思い浮かびます。平凡ではあるが貴い高校時代の日々。よそ見には平凡でも一人ひとりにとって意味のある、時には重く、時には後悔のよぎる日々。生きる重さや不条理に最も敏感なのは高校時代ではないのか。心のどこかでそうあってほしいというかすかな思いとそれをものともしない活力とたくましさを同時に備えてほしいという願い。教科科目だけでなく、人として大切な多くのことをこの高校時代にこそ学ばなければなりません。

わかりやすくタイムリーに発信していくことを今年の目標にしています。残念ながらアメリカのオバマ大統領に先を越されましたが、本校の今年のフレーズは「Change」。昨年の十周年記念をステップとして第二ステージに入った本校ビジョンのカギとなるものです。変化を追及すれば不変のものにぶつかります。不変は普遍であって、それを見極めながら積極的に時代に大切な学校であり続けたいと思っています。

ご指導ください。



山形県立鶴岡中央高等学校長 山田 陽介

学校祭

青春謳華 ~ 中央開花 ~



「3年5組 ゴッドアイス 伸」



「3年5組 創作ダンス」

6月26日(金)、27日(土)の両日にわたり学校祭が行われ、3年生が中心となり全校一丸となって大変盛り上がりました。二日目の一般公開では、多くの保護者や地域住民の皆様が訪れて、生徒たちの企画や活動を見て楽しんでいただきました。また、PTA 役員の方々も巡回指導や飲食販売を行い、ご協力をいただきました。



「オープニング」



「3年2組 創作ダンス」



「天魄太鼓」

慶應先端研 研究助手

本校に隣接している慶應義塾先端生命科学研究所は、若手の人材育成事業にも力を入れており、このたび本校の生徒4名を研究助手として任用しました。

4名は5月中旬から7月下旬まで放課後に週10時間以上にわたり研究所で勤務し、4つの研究プロジェクトに関わる業務に、コンピューターなどを使いながら携わっています。



3年 阿部 博明 君

がんばれ！！高校生研究助手！！

- 3年 阿部 博明 『オイル産生藻を用いたバイオ燃料の研究』
- 1年 工藤 奨 『メタボローム研究に必要な有機化合物の人工合成』
- 1年 佐藤 瞳 『線虫を用いた寿命遺伝子の研究』
- 1年 角田 太郎 『摂氏九十度の熱水に生息する極限環境微生物のゲノム研究』



新入生 特集



転

ぶを練習する

一年次320名が船出をして、早二ヶ月が経とうとしています。日に日に「鶴岡中央」カラーに染まり、勉強に、部活動にがんばる姿が垣間見られます。

さて、鶴岡中央高校は、千人近い生徒と教職員が生活を共にする小社会・共同体を形作っています。そんな環境の中で、生徒たちはこれから社会に出て、社会の一員として活躍するためのトレーニングを積んでいると言っても過言ではありません。学習面では「教室は違うところだ。」という言葉があるとおり、自分の頭で考え、自分で答えを出し、そして、たとえ間違っても、どうして間違ったかが分かれば、賢くなることができます。また、部活動や学校行事を通じては、目標に向かって心を一つに力を合わせ、時には意見の対立があったとしても、それを乗り越えて友情を育むことができます。失敗したからダメなのではなく、失敗して成長することができます。鶴岡中央高校は、上手に「転ぶ」練習をいっぱい積み重ね、社会に出たとき、あるいは家庭を持ったときに花開く「つぼみ」のような学校です。



ビルの谷間に埋もれた夢も いつか芽吹いて
花を咲かすだろう 信じた夢は咲く場所を選ばない

(KOBUKURO「蕾」より)
1年次主任 庄司吉郎

アンケート 結果発表

Q1. 鶴岡中央高校を色にたとえたらどんな色ですか？

赤	青	緑	ピンク	その他	合計
8	255	16	3	30	312
2%	82%	5%	1%	10%	100%

(5月初旬実施)

中央高のイメージとしての『青』が圧倒的な支持をえました。

校章や運動着の色が青だから、さわやかなイメージなどの理由が多かったようです。

[他の理由]

赤:何事にも熱く燃えている、燃えている

緑:緑がたくさんあるから、さわやか、自然が多い

ピンク:華々しい

[その他]

シルバー:新しい感じで機械的

水色:明るくて青春っぽい

紫:落ち着きがあり、物事に対して燃えていた

黄:雰囲気が明るい、窓がたくさんあって光がいっぱい入る

白:純白なイメージ

Q2. 鶴岡中央高生になって一ヶ月!! 生活をしてみて簡単に感想を教えてください。

- ・中学校の頃と比べ楽しい
- ・人が多く友だちがたくさん増えた
- ・勉強、部活も仲間と一緒に楽しい
- ・毎日充実している
- ・授業が早い
- ・居心地が良い

- ・校舎が広い
- ・勉強が難しい
- ・校舎が広すぎてわからない
- ・大変、忙しい
- ・緊張していたけど初めの頃より慣れた



主に学校生活が「楽しく、充実している」と応えたものが多くありました。また、たくさんの生徒がいるので、友だちがたくさんできたなどという声がとても多かったようです。

Q3. 鶴岡中央高校に入学して良かったと思うことはなんですか？

- ・部活、勉強を頑張ろうと思えた
- ・友だちがたくさんできた
- ・先生の授業の進め方→教え方がうまい
- ・担任、教科の先生がおもしろい
- ・広い校舎やグラウンドの良い環境で生活できる
- ・授業内容が学びやすい
- ・部活動の雰囲気がとても良い
- ・自分の将来の夢について深く知れる
- ・大学進学に合わせた勉強ができること

他には、学習センター(図書館)が充実していて、広く明るく、学校のど真ん中にある!という声もありました。

Q4. 高校3年間でしたいこと

- ・進路を具体的に計画し、将来につなげる
- ・部活を頑張る
- ・東北大会、インターハイ出場
- ・資格取得
- ・勉強と部活の両立
- ・楽しく生活
- ・進路実現に向けて勉強を頑張る
- ・部活を頑張る
- ・資格取得
- ・部活で悔いのない練習を頑張る
- ・進路実現に向けて勉強を頑張る
- ・部活で悔いのないように練習を頑張る

特に部活で東北大会やインターハイの出場、部活と勉強の両立や進路実現にむけて勉強を頑張るなどという声が多かったようです。

部活動と 進路希望

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	計
運動部	22	22	24	23	16	18	21	13	159
文化部	5	11	12	5	16	17	12	21	99
計	27	33	36	28	32	35	33	34	258

部活動加入状況

進路希望

	進学										就職						
	国立 公立 大学	私立 大学	国立 公立 短期 大学	私立 短期	大学 校	短期 大学 校	看護・ 医療・ 専門 学校	その他	未定	小計	県内	県外	公務員	未定	小計	未定	合計
普通課	84	11	7	3	4	2	3	23	0	137	8	2	8	0	18	5	160
総合学科	4	5	6	7	0	8	10	72	0	112	32	8	4	0	44	4	160

新しい年度がスタートしました。今年度もよろしくお祈りします。『時代は中央』第16号は、今年度第1回目の発行となります。今回は、「校長あいさつ」や「学校祭」「新入生特集」「慶應義塾先端研 研究助手」「大会結果」などを取材しました。

今年度からは総務広報課がホームページの更新や『時代は中央』の発行を担当します。またぜひ、ご覧ください。さらに見やすいHP、『時代は中央』を作成したいと思います。次号は、「一日総合大学」「学校説明会」を特集予定です。今後も本校ならではの特色を学校外に情報発信していきたいと考えています。ご意見ご感想は、下記までお願いいたします。

〒997-0017

山形県鶴岡市大宝寺日本国410
TEL: 0235-25-5724

<http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp>

kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp

編集後記

広報担当: 佐藤 佳奈、成澤 弘之、山口 邦雄

東北大会 のがんばり

陸上競技部 2年 砲丸投げ 第4位 奥泉 舞 (藤島中出身)
インターハイ出場！！



2年 奥泉 舞 さん

弓道部 女子団体 優勝

3年 本間 李江子 中村 亜弓
高橋 友理恵 成澤 真於
佐藤 美咲 2年 遠藤 里穂

県大会 のがんばり

陸上競技部 砲丸投げ 第3位 荒瀬 和成 陸上競技部 1600mリレー 第6位
(男子) 第5位 五十嵐 太一 (女子) (渡部、草島、足達、川井)
円盤投げ 第3位 池田 樹生 砲丸投げ 第1位 奥泉 舞
円盤投げ 第5位 奥泉 舞

弓道部 女子団体 第2位

第56回 NHK杯全国高校放送コンテスト山形県大会

朗読部門 優勝

3年 富樫千帆 (藤島中出身)

地区総体 のがんばり

生徒会オリエンテーションより



陸上競技部 (男子)

100m 3位 佐藤 直人
200m 1位 秋野 忠彦
400m 1位 秋野 忠彦
800m 2位 齋藤 幸弘
1500m 1位 齋藤 周
5000m 2位 齋藤 周
3000m障害 2位 佐藤 航輝
1600mリレー 第3位
(秋野、齋藤幸、佐藤航、秋山)
砲丸投げ 2位 五十嵐 太一
3位 荒瀬 和成
円盤投げ 1位 池田 樹生
2位 荒瀬 和成
学校対抗総合 第3位

弓道部

女子団体 第1位
個人 3位 高橋

テニス部

男子団体 第3位

バレーボール部

女子 第3位

バドミントン部

男子団体 第3位
ダブルス 3位 橋本・長谷川

柔道部

男子個人100kg級 1位 佐藤 俊
女子団体 第3位
個人52kg級 3位 阿部
個人57kg級 3位 五十嵐

剣道部

男子団体 第3位
女子団体 第3位
女子個人 3位 成澤
第1位

ソフトボール部(女子)

第1位

陸上競技部 (女子)

100m 1位 草島 梓
200m 2位 川井 奈津美
400m 1位 草島 梓
2位 渡部 祐香
2位 渡部 祐香
3位 矢内 光
100m障害 2位 川井 奈津美
400m障害 2位 足達 好
400mリレー 第1位
(足達、草島、川井、渡部)
1600mリレー 第1位
(足達、渡部、草島、川井)
走り高跳び 3位 齋藤 ちひろ
走り幅跳び 3位 矢内 光
砲丸投げ 1位 奥泉 舞
円盤投げ 1位 奥泉 舞
学校対抗総合 第1位

ソフトテニス部

男子団体 第3位

サッカー部

女子 第3位

ウェイトリフティング部

62kg級トータル 3位 若生
62kg級スナッチ 3位 若生
62kg級ジャーク 3位 若生
69kg級トータル 3位 前田
69kg級ジャーク 3位 前田
85kg級トータル 2位 角
85kg級スナッチ 2位 角
85kg級ジャーク 2位 角

卓球部

女子団体 第2位

ラグビー部

第2位

アーチェリー部

女子団体 第1位 鶴岡中央A
第3位 鶴岡中央B